

「今回のせいじ便りは・・・」  
 ■拉致問題には厳しく対応を！  
 ■今こそ、「景気対策」を！  
 ■いよいよ国会改革だ！  
 ■定数削減、世襲にルールを、大臣を国会から解放しよう！

# せいじ 便り 13号

## 揺るぎなき挑戦！！

### 拉致問題には厳しく対応を

北朝鮮が「拉致問題は解決済み」との立場を更し、再調査を約束しました。これを受け、日本独自の制裁の一部解除が検討されています。しかし、「圧力」あつての「対話」です。北朝鮮のしたたかさにも注意が必要です。



テロ支援国家指定解除の手続きに動く米政府

制裁の一部解除は、北朝鮮による再調査結果の内容を見極める必要があります。そうでなければ、「一生懸命働きます」との口約束で、結果もみずにボーナスを出すようなものです。米国は、北朝鮮に対するテロ支援国家指定の解除に向けて動き出しています。我が国は、核・ミサイル・拉致と三つの脅威にさらされ、最も北朝鮮から影響を受けます。その日本が、口約束で軟化しては、米国の動きに口を挟むことも難しくなります。

最後は「対話」が必要ですが、「圧力」あつての「対話」、結果を出すための「対話」であることとを再認識しなければなりません。

### 景気対策が必要

国会最終盤、太田・経済財政担当大臣と質疑をさせていただきました。ズバリ、「景気対策」を求めました。「景気対策」は、「小さな政府」、「市場主義」などの前で、守旧派のレッテルを貼られ、死語と化しています。しかし、景気が悪いとき政府が手を打てないとすれば、政府の存在価値はありません。景気悪化で傷つくのは、弱い立場の中小企業、中低所得者です。景気対策の時です。原油高・資源高・物価高で、

街の景気はどん底。価格転嫁できず、給料上がらず、シワ寄せが中小・零細企業、サラリーマン世帯に及んでいます。政府も、六月の月例経済報告で、景気判断を引き下げました。

問題は景気対策の中身と財源。従来のような、公共事業中心ではなく、国民の皆さん、中小・零細企業に、直接資金が回っていくこと大切です。四本の柱が重要です。

第一に、教育減税を中心とした減税。年頃のお子様のない世帯に対しても、お孫さんなどへ教育資金を回した場合には、教育減税を認めてもよいと思います。第二に、原油高騰対策のための助成金。特定の業種に限らず、広く中小・零細企業全般に助成すべきです。第三に、緊急的な小中学校の耐震工事の展開。耐震化率は依然六割程度にとどまっています。第四に、ナショナル・プロジェクトの実施。例えば、空港・港湾の集中整備、リニア・モーターカーの早期着手など。

もう一つの課題、財源は、財政投融资特別会計の積立金約十兆円と外国為替特別会計の積立金約三十兆円をそれぞれ一、二兆円程度取り崩したらいいと思います。

■財投特会の積立金は金利変動リスク、外為特会の積立金は為替変動リスク（円高）にそれぞれ備えるものですが、一、二年の短期間、暫定的であれば、一部を取り崩して、国民に還元するこ



原油高騰があらゆる分野に影響を及ぼしている

とは何ら問題ありません。もちろん、一度取り崩したら二度と使えませんから、野党が主張する二十兆円ものバラマキの恒久財源とはなりえないことは、付言しておかなければなりません。

## 拉致問題には厳しく対応を

公務員制度改革が決着し、次は、国会改革です。①定数削減、②世襲議員の制限、③大臣と国会の関係見直し、④役所と国会の関係見直し、進めていかなければなりません。

## 定数削減

諸外国と比べると日本の国会議員数は普通です。しかし、無駄遣い撲滅が大きな課題となっている今、国会が先ず身を削るべきです。衆議院は480人から300人に、参議院は252人から100〜150人程度に削減すべきです。

## 世襲議員にルールを

日本ほど、世襲議員が多い国はないと思います。職業選択の自由もありますし、能力さえあれば、世襲議員に問題はありません。事実、立派な世襲議員が大半です。しかし、競争条件は一緒にすべきです。英国が参考になります。英国でも、二世、三世議員はいます。しかし、彼らは父親や祖父の地盤を引き継ぐことはありません。選挙区は、事実上、世襲できないようになっており、二世、三世であっても、血縁や地縁のない選挙区から勝ち上がらねばなりません。日本も、親子同一選挙区からの立候補制限などの措置を講じるべきです。

## 国会は総理や大臣を拘束しすぎる

総理や大臣の国会出席が多すぎます。政府を監視することも重要な国会の役割ですが、行き過ぎはよくありません。野党は大臣が出席しなければ審議に応じませんが、副大臣も政務官もいるのですから、総理や大臣を連日朝9時から夕方6時頃まで国会に釘付けする状況は改めるべきです。米国の大統領は基本的に議会に出席しません。英国首相も週一回三十分しか議会に出ません。会社の社長が外の会議にばかり出席しては、会社はなりたないように、総理や大臣が、国会開会中、一〜二時間しか役所にいないのでは、政治主導を確立するなど夢のまた夢です。

## 役所との関係にルールを

役所のタクシーチケットが問題になっています。商品券の受け取りなどは言語道断で、免職も含めて厳正な処分が必要です。そのうえで、そもそも残業が多いのは何故か考え、大半は国会に原因があります。

### 国会議員数比較

【日本】		【アメリカ合衆国】	
人口	1億2700万人	人口	3億人
衆議院議員	480人	下院議員	435人
参議院議員	242人	上院議員	100人

国会の質問、とりわけ野党の質問は、前日の夜中近くにならないと提出されることがよくあります。その結果、答弁作成作業は深夜におよび、帰宅は二時、三時が当たり前。もう一つ、議員からの政府への質問趣意書も、回答作りは深夜に及びます。英国では、①質問は質問当日の二日前までに提出すること、②国会議員からの質問のうち、膨大な作業が必要なものは、政府が必要費用を示して拒否できる、といった制度があります。国会と役所の節度ある関係づくりのためのルールが必要です。

## 木原せいじ事務所

■国会事務所 〒100-8982  
東京都千代田区永田町2-1-2  
衆議員第2議員会館606号室  
TEL: 03-3508-7606  
FAX: 03-3508-3986

■地元事務所 〒189-0013  
東京都東村山市栄町2-22-13  
松岡ビル2階  
TEL: 042-392-4105  
FAX: 042-392-4106



木原せいじモバイル  
http://qtv60.com/  
kihara/  
携帯電話から木原せいじモバイルにつながります。

## ボランティアを募集しています!

事務所内における事務、ポスター貼り、各種広報物の配布などお手伝いいただけるボランティアを募集しています。どんな事からでもかまいません。政治に興味があって、木原誠二の政治活動を手伝ってみたいと思われる方は是非ご連絡ください。



## 国会見学に行きませんか?!

木原せいじ事務所では、随時、国会見学を受け付けています。友達や仲間とお誘い合わせの上、是非ご来館ください。少人数からでもお気軽にご相談いただければ結構です。テレビで報道される国政の生の現場をご案内します。



## 木原せいじプロフィール

- ・私立武蔵中学・高校、東京大学法学部卒業
- ・大学時代はテニスで全国選抜3位
- ・平成5年大蔵省(現財務省)入省、主計局、大臣官房、国際局課長補佐、税務署長歴任
- ・その間、英国大蔵省出向(初代)
- ・平成17年9月 衆議院選挙当選
- ・現在、厚生労働委員会、内閣委員会、拉致特別委員会、各委員。党では、国際局次長、青年局次長、女性局次長、学生部参与。
- ・趣味はテニス・ピアノ・散歩。座右の銘「至誠通天」。
- ・著書「英国大蔵省から見た日本」(文春新書)

